



竹尾 直章
BSIグループジャパン
取締役社長

経済同友会 つながる▶▶
リレートーク
#216

Responsibility



古河 建規
SOLIZE
取締役社長

2009年に、勤めている会社が企業再生のスタートをすることになり、社長に就任しました。多くの人から「古河さん、40歳ですごい責任だね」「1,000人の社員だから、家族も入れたら責任は大きいね」「何十億も借金を返済する責任を背負うのは厳しいね」「でも、いつも明るいねえ（笑）」などと言われました。どこへ行っても、責任、責任、責任と言われました。そんな中で、責任という言葉をしっかり自分なりの言葉で解釈したいと思うようになりました。

そこで、Googleで「責任」という言葉を検索しているうちに、責任という言葉より、「Responsibility」という言葉が私にはしっくりきました。ラテン語のRespondereが語源で、「応答する」ということ。それができるAbility（能力）という意味だと理解しました。

「どんなことが起きても、しっかりと応答する能力だ！」「それなら今の自分にピッタリだ！」という気持ちになりました。テニスで例えると、錦織圭選手の代名詞ともいえる力強いフラットショット“エアK”のようなイメージです。“ジャンプしてでも、この球を打ち返す！”“届かない球も走って手を伸ばして届かせる！”というような気持ちです。毎朝、本当にその情熱を持っているかを自分に問いかけてから仕事をしています。

「Responsibility」は、今悪いことが起きても、それは必ず良いことにつながると信じて変化させる力でもあります。現在の多くの課題を、時間軸をずらして、プラスへRespondすることです。さらに、時間軸を前に移して、状況が起きる前にRespondするAbilityだと感じています。

あれから6年がたち、再生も終了しました。SOLIZEという新しい社名に変更し、売り上げも2倍になりました。SOLは人の情熱を表す太陽、IZEはREALIZEで、具現化するという意味です。Responsibilityを持って、Sol（情熱）を、Realize（具現化）する人間が何人いるかが会社の価値だと思います。

今でも、自分にはそんなことはできないと思ったときに、「Responsibility」という言葉が背中を支えてくれます。常に、今をスタートポイントとして、経済同友会の皆さまと触れ合いながら、より社会に貢献できるようにRespondするAbilityを高めていきたいと考えています。

▶▶ 次回リレートーク

昌子 久仁子

テルモ
取締役上席執行役員